



みさき 議会だより



第102号 平成28(2016)年 1月号

主な内容

- 特集記事 町長・新議長新春対談・・・・・・・・・・ p 2
- 議会構成変わる新体制に・・・・・・・・・・ p 4
- 常任委員会審議状況・・・・・・・・・・ p 6
- 学校跡地調査特別委員会調査報告・・・・・・・・ p 7
- 議員の一般質問・・・・・・・・・・ p 8
- 議案の賛否・町民登壇・・・・・・・・・・ p 12

無病息災を願って 下畑集落どんど祭り

題字 三朝中2年 津村千尋さん

特集記事

町長・新議長 新春対談

三朝町版総合戦略幕開け！

5年後の三朝町へ期待！！



○三朝町版総合戦略について

司会】 町長・議長、明けましておめでとうございます。新年を迎え町長、議長のお二人に今般策定された総合戦略に込めた思いや期待することをお聞かせください。

町長】 町民の皆様明けましておめでとうございます。これまで町づくりの方針は10年ごとに策定する「総合計画」に沿って施策を展開してきましたが、急激な人口減少をどう克服するかの特化して「まち・ひと・しごと・総合戦略」を策定しました。

本町は中山間地の問題も多くありますが、町民の皆様と知恵を出し合い課題の克服に向けてがんばりたいと思います。

議長】 国の地方創生は各自治体が各自の戦略を練りなさいと旗を振られている。

人口減少は大きな日本の問題になっている。

三朝町版総合戦略の中で人口対策によって人口減の割合が少なくなるのではと期待しています。

○人口ビジョンについて

司会】 人口減は三朝町にとっても重大課題ですが、将来人口推計を夢ある現実のものにするための思いを町長、議長それぞれお聞かせください。

町長】 平成27年10月1日の国勢調査で平成22年では7,015人から533人減少して、6,482人となる見込みです。

人口減少を引き起こしている負の連鎖をどう断ち切って行くのかをしっかりと踏まえていかなければいけません。

具体的方法として

①未婚率の減少、子育て環境の充実を図り、出生数の維持と上昇を目指して行きたい。

②本町出身の若い世代の転出を押さえるとともに、本町以外の方の転入促進を図っていく。

③三朝町は毎日1,000人からの観光客があるという特色を持った町です。情報をしっかり提供して行く仕組みづくりをしていく。その事が地域の活性化に繋がっていくと思います。



子育て環境の充実は（みささこども園）

議長】三朝町は年間100人の人口減となっている。出生は50人前後、若い世代の転出が50人弱位と認識しています。

やはり仕事場の確保が大事で、今道路が非常に整備されているので、広域的な仕事場の確保が急がれる。その情報をだす事によって定住、転入を図ることが行政に求められていると思います。

また、いろんな経験を積まれた人達のグループを作って、結婚を促したり、後押しをしていく体制が必要と認識をしています。



○基本目標の合計特殊出生率1.60について

司会】出生率の向上はどの町でも緊急かつ重要課題として総合戦略に取り上げていますが、町長はどのような施策が有効とお考えでしょうか。お聞かせください。

町長】三朝町の子育て環境の充実が県内で上位と思っています。さらに結婚・出産・子育て・就学・就職・定住まで、一つのサイクルとして捉えて進めていきたいと思っています。

司会】議長は出生率1.60の実現に向けて、議会としてどのような応援が必要と思われますか。

議長】議会としての意見は、基本的には難しいと思います。個人的意見として、転入をどうするかということで、地域おこし協力隊が3年間では無く引き続き住んでも

らうための施策があってもいいのではないかと思います。転入を増やさないと人口増にはならない。もう一つ、フランス交流員の定住もいいのではないかと。

町内には医療機関が揃っているが、子育てという部分を含めたら小児科、産婦人科の二つの機能を備えていただくよう中部医師会に要望活動をすべきだと思います。

○具体的な施策について

司会】総合戦略では多くの具体的な施策、事業が提案されていますが、町長は優先順位としてどの事業から取り込まれるおつもりでしょうか。

町長】総合戦略では「教育、子育てや健康づくり、仕事、交流人口や定住対策、生活環境の充実」の5点の基本的な目標に沿って162の具体的事業を掲げております。

事業には短期的に取り組んで成果が上がるもの、長期的に取り組んでこそ成果が上がるもの、この両方の視点を大切にしっかりと地に足を付けて、実現可能な事業から取り組みを始めていきたい。

事業実施後は効果を検証してより効果がある施策展開へ繋げていきたいと考えています。

司会】具体的な事業推進には議会の協力が不可欠ですが、議長はどのような視点で協力しようと思えますか。

議長】事業には継続的な事業、新規事業もついています。それぞれの事業の中で必要なものかどうか、足りないところがあるのか無いか再認識しながら、議会のチェック機能の中で協力していきたいと思っています。



○5年後、25年後三朝町の姿は司会】最後に総合戦略の実現により5年後、25年後の三朝町をどのように期待し、夢ある姿を描いておいでか町長、議長お聞かせください。

町長】町民の皆様が本町を故郷として、大切に思っていていただき又自信と誇りを持って暮らしていただく事ができる仕組みをきちんと構築をして、安心して暮らしていただける三朝町を確立して行きたいと思っています。

本町には他には無い財産、資源に満ちあふれており、もっと掘り起こし磨き上げ伸ばしていくことに戦略の未来があると考えています。

町議会の議員各位はもとより町民の皆様のご理解とご支援を承り是非一緒に力強くこの計画を進めていく力をいただきたいと考えています。

議長】総合戦略の5年間で色々なかたちで実績を積み上げていけたらと思っています。

三朝町はよい所だ、住んで良かったと思っただけの町でありたいと願っています。

司会】三朝町の明日に期待したいと思っています。ご協力有り難うございました。

〔司会〕

藤井 克孝委員長

〔写真〕

中信 貴美代副委員長

議会構成変わる 新体制に

平成27年11月18日に臨時会が招集され、議長に福田茂樹議員、副議長に平井満博議員が選任されました。また、任期満了による議会運営委員と各常任委員会の委員の選任も行われ、次のとおり新しい構成となりました。



全員参加の 議会へ

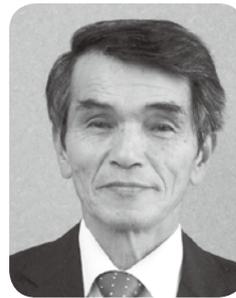
福田茂樹議長

このたび議長に就任いたしました。

この2か月で、あまりのハードスケジュールに、びっくりするとともに、議長経験者の皆様に改めて、敬意を表するものであります。

議会は、議長一人が動いても何も始まりません。議員一人ひとりがそれぞれの役割り分担をもって行動し、それによって、議会がまとまった方向にいくものと考えます。

今、三朝町議会は開かれた議会を目指しています。私は、議長室をオープン化して、ただ陳情を聞くのではなく、三朝にプラスになる話が互いにできればと考えます。



町民が豊かで 住みよい町に

平井満博副議長

少子高齢化・過疎化の進行や耕作放棄地の増加など、地域の課題が山積している中、国は地域の「地方創生」に向けた具体的な施策を創出することを求めている。

本町も昨年10月に総合戦略を取りまとめたが、総合戦略は地域の持ち味や可能性を最大限に生かし、時代の変化に合わせて新しい視野を持って施策を考えることが必要であり、観光地だけでなく、地域全体を見据えた政策が必要で、三朝町の可能性もそこにある。

多くの課題を抱える中、町民皆さまが豊かで住みよい町と思えるような町づくりを目指していきたい。

議会運営委員会

議会を円滑に進めるために



清水成真委員長

町民の皆さんには、あまりなじみが無いと思いますが、この議会運営委員会の所管は法律で定められていて、1. 議会の運営に関する事項、2. 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、3. 議長の諮問に関する事項の3つです。町民の皆さんに直接関わることはないのですが、議会を円滑に進めるためには、非常に重要な委員会です。今年は特に大きな案件が山積みです。議会改革も含め、主権者である町民の皆さんの意見をいただきながら、議会運営を進めていきたいと思ひます。



上段左から池田雅俊委員、牧田武文委員、平井満博委員

下段左から能見貞明副委員長、清水成真委員長



上段左から福田茂樹委員、藤井克孝委員、清水成真委員、山口博委員
下段左から石田恭二副委員長、池田雅俊委員長

一意専心で一所懸命に

池田雅俊委員長



11月の議会改変に伴い、総務教育常任委員会の委員長に就任することになりました。つきなみではありますが、これからも尚一層努力、勉強し、町民の方々の最も関心の高い医療・福祉・教育・子育て・保育といった各分野の更なる充実に向けて一意専心の心構えで臨み、一所懸命の姿勢で取り組んでいき、町民各位の付託に答えていく所存でありますので、皆さま方のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

勇往邁進



能見貞明委員長

11月に議会の改変があり、産業民生常任委員会委員長に推薦され、就任いたしました。

産業民生常任委員会は、農林課、農業委員会、企画観光課、町民税務課、建設水道課、プランナールみさを所管しています。

議員になって2年での委員長就任でまだまだ未熟で、勉強すべきことがたくさんありますが、いろいろなところに積極的に足を運び、皆様の意見を聞き、議論、検討しながら三朝町が今まで以上に発展していくように勇往邁進していく所存であります。



上段左から牧田武文委員、山田道治委員、平井満博委員、中信貴美代委員
下段左から吉田道明副委員長、能見貞明委員長

議会活動を町民へ

藤井克孝委員長



昨年新しく各委員会構成がスタートしました。議会広報常任委員会として、町民の皆さまに議会活動及び予算審議の内容をお伝えし、議員との意見交換会を通して町民の皆さまの声を取り上げ議論して、町民の皆さまが納得できるみささ議会だよりを発行していきたいと思っております。以上、委員会を代表してごあいさつ申し上げます。



上段左から池田雅俊委員、山田道治委員、平井満博委員
下段左から中信貴美代副委員長、藤井克孝委員長

常任委員会で 慎重審査

委員会における主な質疑

◎総務教育常任委員会

(所管) 総務課、福祉課、子育て健康課、会計課、財務課、危機管理課、教育委員会

◎産業民生常任委員会

(所管) 企画観光課、農林課、農業委員会、建設水道課、町民税務課、プランナール

産業民生常任委員会

農林課

架線系作業システム導入事業305万円

(委員) タワーヤードとはどのようなものか。

(回答) 搬出が困難であった急峻な山林等において、材木搬出を可能にするために、鳥取県森林組合による高性能架線系作業システム(タワーヤード)の導入が予定されており、導入支援をするものである。

企画観光課



三朝町キラリと光る町づくり支援交付金 採択事業数の増加に伴う補助金の補正 補正13万円

(委員) 明日の三朝町を担う人材育成事業の概要は。

(回答) 中学生、高校生が国内、海外に研修に行く際に、費用の助成を行うもの。経費の5分の4以内で上限30万円とする。

移住定住促進事業 補正100万円

(委員) 移住定住促進事業について、初年度に補助金の支援を行い、次年度以降に空き家になった場合はどうなるのか。

(回答) 移住定住促進事業補助金交付要綱に基づき補助金支援を行っているもの。交付条件として補助金交付を受けてから5年以内に取り壊し、移転、売却をした場合は補助金を返還していただくことになっている。

建設水道課

加谷川発電所事業見合せ

(委員) 基本的に努力をされているのは分かる。予算が付いていて、執行停止で保留している。設置できれば、お金も入るわけだから、町も企業局に対して努力すべきでは。

(回答) 企業局の局長は町長と面談されていて、止まっていることはだめであり、事業を実施したい意向は示している。そういった要望もこれからしていきたい。

総務教育常任委員会

危機管理課

(委員) 消防の普通旅費の内容は。

(回答) 1回当たりの出動金額が4,300円で、それ掛ける人役です。

防災行政無線デジタル化整備工事契約額 2,448万円減

(委員) 防災無線デジタル化の契約変更の要因は。

(回答) 集落放送が24→12に。150MHzの送信機の数17→27局に。木地山中継局に光ケーブルを敷設。

(委員) 受信に障害があった場合、新たに予算が必要か。

(回答) 仕様書に基づいて完成する

ものを受け取ることになっているので、成果品を受け取るだけ。

総務課

(委員) 町としてマイナンバーの普及に対してどう考えているか。

(回答) 町民が各種申請に便利になるので推進していきたい。

社会教育課

(委員) 文化財各調査が減額になっているが、終了したのか。

(回答) 終了ではなく、今年度予定していた事業が完了したということ。

(委員) 調査によって出てきたものは。

(回答) テレビ報道であったが、古地図にある「三鈴の岩屋」を発見しております。

福祉課

養護老人ホーム措置委託費補正 150万円

(委員) ショートステイ事業で対象者が増えた理由は。

(回答) 高齢者虐待の可能性があったのが理由です。

文化ホール

文化ホール施設改修費補正 1,283万円

(委員) 空調改修の優先度は高いのか。

(回答) 暑い時、寒い時の使用。いつ壊れるかわからない状況で修理に何か月もかかることを考えると優先度を高くさせていきたい。

(委員) 公共施設の管理計画の一環をなしているのか。

(回答) 計画を作成しているところ。長寿命化計画を作成し公共施設管理計画の関連も含め実施する。

学校跡地調査特別委員会 調査報告

平成27年3月20日の本会議で、町内3小学校の統合に際し廃校となる小学校とその跡地利用について調査研究を行う特別委員会（6人で構成）を設置しました。

特別委員会では4月から8月に4回の会議を開催し、7月には若桜町、日南町、新潟県阿賀野市を視察し、11月13日に報告書を議長に提出しました。

報告内容

イ) 学校跡地の利用の意義

そもそも学校はその地区や集落の中心に立地しており、廃校で放置あるいは撤去されてしまえば当該地域の衰退を大きく加速させていくことが懸念される。そのような例は全国的に見ると、珍しくない現実問題としてある。地域の共有財産として校舎を残し、有効利用を望む地元の意向に沿うことは、地域の活性化を図る上で極めて重要であると思われる。

ロ) 学校跡地利用の課題

校舎を残すに当たり、一番大きな課題として考えられるのは、過疎地域での地域振興にいかにか寄与出来るかという事であり、社会教育施設、体験交流施設、医療・福祉施設、飲食・加工施設、庁舎、住宅等、様々な活用が見られるが、その場しのぎ的な地域住民不在のものになってはな



新潟県阿賀野市視察

らないという事が最も重要であると考えられる。

ハ) 地元住民への配慮

いずれかにせよ学校跡地の活用については、地元住民の意向に沿いながら、なおかつ地域の活性化につながり、地域の拠点となるものであるべきで、教育の場であったこと、地域住民の思い出の詰まった場であったこと、地域のコミュニティーの中心であったことなど総合的に勘案していく必要があると思われる。

二) 三朝町が進めていくべき方向性

- 学校跡地は敷地が比較的広く、立地条件も良く利活用の意義が大きい。
- 「学校を残して活用してもらいたい」という地元のニーズに応える。
- 放置、撤去することによる地域の荒廃、衰退を避けたい。
- 地域づくり・地域振興の起爆剤になる。
- 防災上の避難場所としての期待。

以上のような点を鑑み、今後、地域住民と真剣に話し合い具体案を取りまとめていき、町と地域住民とが連携して、その有効活用を模索していくことが町に課せられた命題であり、使命で

あると結論づけるものである。



日南町視察



若桜町視察

委員長	能見	貞明
副委員長	池田	雅俊
委員	福田	茂樹
	藤井	克孝
	清水	成真
	山口	博

みさき さん

問 民間活力導入可能性調査の結果は？

答 今後の方針として、どの選択肢でも、痛みを伴う厳しい決断を迫られる

○今後の方針は

清水

町民の皆さんの関心が高いが？

町長

どうすれば、事業を継続していけるかを慎重に検討してまいりたい。

○痛みを伴うとは？

清水

財政的なことや、雇用の事

だと思うが、どのように感じているか。

町長

当初の計画そのものに起因する部分もあるが財政的な面、そして非常に多くの方々を雇用してスタートを切ったということです。



清水成眞議員

小学校 統合

問 町の方針決定がずいぶんと遅れているが？

答 新築した場合の経費調査などで時間がかかった。最終結論にまとまりつつある。

○なぜ、最終決定が遅れているのか？

清水

スケジュール的にずいぶんと遅れている。なぜ遅れているのか。

教育長

新築の場合の経費補助金などの調査に時間がかかりました。

○統合準備委員会の検討材料には？

清水

新築の場合の経費について、統合準備委員会に出していなかったのか？

教育長

新築・大規模改修について、概ねいくぐらいかかるのかという事はそれぞれ示しています。

清水

それぞれの経費を理解した上で、統合準備委員会は「新築」という結論を出されたと認識してよいか。

教育長

経費等を理解していただいた上で、大方の意見が「新築が望ましい」という報告でした。

○教育委員会での意見集約は

清水

新築か、大規模改修かという部分でも、意見集約がされてい

ないということか。

教育長

はい。ほぼ集約されつつあります。

○「米百俵の精神」

清水

30年後、40年後を見据えた、長岡藩の「米百俵の精神」が、三朝町の子ども達の環境に活かしていただきたい。

教育長

素晴らしい環境を目指してがんばっていききたいと思います。

総合 戦略

問 三朝町のあるべき姿は？

答 本町をふるさととして大切に思い、自信を持って暮らしていくことが出来る町を作りたい。

○本町の現状は？

清水

転入出や自然現象などで人口が減っているが？

町長

人口の1%を増やしていく政策を示し、着実に進めていきたい。

○どのような町を目指すか？

清水

総合戦略の策定で、どのような町を目指すのか。

町長

本当にあったかい、人と人との営みが生涯続いていく、そういう町を構築してまいりたい。

防災無線

問 戸別受信機に若干の不安を感じる

答 J-ALERT は確実に受信される

○この戸別受信機は大丈夫か？

能見

このたび防災無線デジタル化事業も着々進み、戸別受信機の配布も始まったと聞く。この戸別受信機について若干質問させていただく。

まず第1に、配布の方法がありますが、各区長さんに渡しそこに各戸が取りに行くという事ですが、本当にこの方法でよろしいのか。また取り扱い方法等を区長さんに任せるのか。

第2にこういった配布のやり方をしておいて受信状況をどのようにチェックされるのか。受信状況の良好でない地区、家庭への対処はどのように考えておられるか。

第3にこの戸別受信機の性能について、若干の不安を感じた。前記にも述べたが、すべての受信機について受信状況を確認すべきだと思うが、町長のお考えをお聞きしたい。

○戸別に原因を解明

町長

各戸への配布方法は先日区長会でも説明させていただいたが、集落への搬入は工事業者が各集落の世帯への配布準備が整うことを確認後、一括して集落公民館等への搬入を行うこととしている。その後各戸への配



布はそれぞれの集落の実情、実態に応じて各区長さんにお任せすることになっている。

受信状況のチェックはこのたびデジタル化整備事業の施工にあたり、まず、実施設計において机上での町内エリア電波伝搬設計を行った後に、町内各所で電波伝搬の調査と到達する出力の実施確認を行っている。

受信状況の良好でない各家庭への対処は、受信機の配布後に電波受信テストの結果を各集落で回覧板を用いて、全戸への受信確認を行うこととしている。

受信できない事案が発生した時は施工業者が個別に原因の解明、解決を行う。

○業者が配布するのが当たり前

能見

町民の生命、財産を守る戸別受信機を区長さんに任せるのはいかがなものかと思う。

業者が配布して受信状況を確認し説明するのが当たり前ではないか。

町長

区長会でも申し上げスムーズに搬入事業が行われていると理解している。集落から不具合あるいは、問題等が入ってきている状況はない。

○この150ヘルツ（簡易無線）の電波は大丈夫か？

能見

防災無線機は信頼できる業者だから大丈夫と言われたが、キャリアセンスは絶対ないのか。中国総合通信局（前電波監理局）は150キロヘルツではキャリアセンスは絶対に起きると言っている。このことを住民



能見貞明議員

.....
の皆様に説明すべきと言っていますが、区長会で説明されたか。

町長

キャリアセンスの事については説明していない。

○J-ALERT は鳴るのか

能見

電源を切っていたらこの戸別受信機はJ-ALERTは鳴らない。三朝町の特記仕様書、つまり注文書ではスイッチの位置に関係なくJ-ALERTは鳴るようになっていたが。



○鳴る方向で理解していただく

町長

J-ALERTは確実に鳴るという方向で町民の皆さまに理解をしていただくように説明していく。

○生命、財産の絆

能見

町民の生命、財産を守る大事な戸別受信機である。J-ALERTが鳴らないという事がないように整備していただきたい。

三朝町の明日に期待

総合戦略

問 地方創生総合戦略の実施にはPRで町民参加を

答 機会あるごとに周知に努め、協力・参画を求める

○三朝町版総合戦略は目玉が見えない

山口

事業が網羅的で目玉が見えにくい印象だ。実施に当たっては事業の優先順位付けなどが必要ではないか。

○具体的な事業数は全部で162事業を設定

町長

総合戦略には、162事業を掲げている。短期的に効果的な事業をどう展開するかが求められる。



○総合戦略の周知と当事者意識の醸成をどうするのか

山口

総合戦略を町報だけでなく、さらなる周知と当事者意識の醸成をどう図るつもりか。

周知に当たっては労を惜しまないで説明して欲しい。

○機会あるごとに説明し、意識していただくことが大切

町長

総合戦略の具体化に向けては、あらゆる機会を通して話し合いを展開していきたい。地域協議会、各種団体、グループや、村単位でも話し合いを展開するよう思っている。

○総合戦略の実施主体はどのように考えているのか

山口

総合戦略の多岐にわたる事業を実施する主体をどのように想定しているのか。

○町民の皆さんの協力・参画が不可欠

町長

総合戦略の具体化に当たっては、行政には限界があり、町民の皆さんはもとより、あらゆる関係者の協

力・参画が不可欠と考えている。

○粋な教育で目指す「みささっ子」とは

山口

粋な教育で育てようとしている「みささっ子」とは具体的にはどんな子どもを想定しているのか。従前と違う点は何か。

○三朝町に誇りと愛着を持つ子を育てる

教育長

現在の特色ある三朝町教育を一層磨き上げ、三朝町に誇りと愛着



山口 博議員

を持つ子を育てる。

より洗練された教育の実践を目指したい。

観光政策

問 三朝温泉・三朝町のさらなる魅力アップを

答 さらに魅力ある町づくりを推進

○次の方向はおもてなし重視

山口

三朝温泉・三朝町のこれからはソフト面の充実と観光資源の発掘と磨き上げが重要だ。

○魅力ある町づくりを推進

町長

日本遺産認定を契機にさらに魅力ある町づくりを推進していく。

情報発信・提供のための情報環境の整備を実施する方向である。



○観光3団体の連携強化と日本版DMO構築（地域連携観光拠点）を

山口

観光3団体の連携強化を町主導で推進し、地域観光推進のため、日本版DMO構築を考えてはどうか。

DMO情報を関係各方面へ発信周知をされた。

○連携強化で観光商工振興を

町長

観光3団体のさらなる連携強化で効果発揮と町振興を推進したい。

○梨の花温泉郷組織をDMOへ

副町長

梨の花温泉協会のDMO化で中部を活性化することになっている。



○三朝温泉観光協会から三朝町観光協会へ

山口

町内の観光に対する温度差解消のため三朝温泉観光協会を三朝町全体の観光を見通した三朝町観光協会にしてはどうか。

○町全体を観光の町へ

町長

三朝温泉や三徳山を核としながら町全体が観光の町として発展していくことの中で検討したい。

観光

問 三朝町の観光産業発展に向けて

答 進むべき方向性を確認して

○顧客への対応

池田

顧客の志向、旅行形態、予算等の市場調査を行い多様化しているニーズに応えられる体制を築き上げるべきではないか。

○的確に把握

町長

温泉観光地として本町を訪れていただく皆さんのニーズを的確に把握し、それに対し満足度を上げていかななくてはならないと考えている。

○三朝町観光協会へ

池田

町内の豊かな自然環境を一つの資源と捉え、若杉山・高清水高原・中谷の名水や滝、木地師の木工品、閉鎖されたゴルフ場など観光客、レジャー客を呼び寄せるに十分な観光資源があると思う。これらをフル活用させるためにも三朝観光協会へと改変するべきではないか。



○進むべき方向性

町長

三徳山が国立公園に編入されたがこれを人形仙あたりも含め

ながら考えると豪快な山岳コースが開けると思う。また三徳、小鹿、中の谷、竹田の谷をつなぐ林道、そこに生息するクマタカも観光資源になり得ると思う。また三朝観光協会については現、三朝温泉観光協会の役員、会員の皆さんの意見も聞きながら、進むべき方向性を確認しながら発展に向けてまいりたい。



池田雅俊議員



教育

問 三朝町の目指すべき教育体制

答 (教育長) 確かな学力、豊かな心、健やかな体
(町長) 郷土を誇れる子どもを育てる教育を

○教育の根幹

池田

統合された小学校の教育理念、教育体制、教育方針といった学校の根幹となる部分は。

○バランスのとれた教育

教育長

子どもたちの生きる力、つまり確かな学力、豊かな心、健やかな体のバランスのとれた力を育てる教育を推進していく。

○全国テスト日本一

池田

新小学校の目指す姿として「全国テスト日本一」という方針を打ち出しては。

○学習指導の充実

教育長

小学校教育を推進する上では、児童の学力向上は最も重要

な課題の一つで、町内で一定期間、全教員が放課後学習指導をしたところ正解率が飛躍的に向上した例があり、学習状況の改善や教育指導の充実を図っていくよう学校に対し指導していく。

○無限の可能性

池田

子どもたちは、無限の可能性を秘めた宝物、県単位、市町村単位での取り組み方一つで学校の姿、子どもたちの姿を変えられるもの。どう対応するつもりか。

○郷土愛と国際感覚

町長

郷土に学び、郷土を誇れる子どもを育てる教育に力を入れるとともに国際的な見識と視野を持ち、社会の変化に対応する力をつける。

グループ紹介 三朝町消防団女性団員

部長 坂出 秀美さん

◇結成 平成16年 ◇団員数 13名

◇三朝町消防団女性団員の役目

- ・災害・火災時の救護・消火後方支援
- ・地域でのAEDの使用法指導
- ・火災予防運動に園児への火災予防紙芝居
- ・高齢者等住宅防火診断の実施



第22回全国女性消防操法大会出場

平成27年の大きな活動として

平成27年10月に横浜市で開催された全国女性消防操法大会への出場に向け、平成26年11月から練習を開始しました。現在の団員は13名ですが、最終的には6名での練習となりました。選手の平均年齢が55歳と大会出場隊の中でも高齢ということで、皆この年齢でも十分出来ることを全国に発信したいと意気込んで練習に頑張りました。

練習回数は、冬期は週2回の夜練習、夏期は週3回の昼夜練習でした。

団員にとってポンプ操法の練習は苦勞の連続でしたが、町消防団幹部・中部消防局の皆さんの熱心な指導・力添え、家族の理解を得て猛練習に耐え、全国大会に臨むことができました。



保育園での紙芝居



三朝町消防の日一斉放水

三朝町消防団女性団員募集中！！

議案に対する賛否

議案番号	町長提出議案名	結果
	(12月定例会)	
81	平成27年度三朝町一般会計補正予算(第4号)	可決
82	平成27年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
83	平成27年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決
84	平成27年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
85	平成27年度三朝町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決
86	平成27年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号)	可決
87	平成27年度三朝町水道事業会計補正予算(第2号)	可決
88	平成27年度三朝町国民宿舎事業会計補正予算(第1号)	可決
89	三朝町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	可決
90	三朝町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例及び三朝町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	可決
91	三朝町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決
92	三朝町税条例等の一部改正について	可決
93	三朝町国民健康保険税条例の一部改正について	可決
94	工事請負契約の締結についての議決の一部変更について(三朝町総合スポーツセンター耐震改修工事(電気設備))	可決
95	工事請負契約の締結についての議決の一部変更について(三朝町総合スポーツセンター耐震改修工事(建築))	可決
96	工事請負契約の締結についての議決の一部変更について(三朝町防災行政無線デジタル化整備工事)	可決

※上記の議案はいずれも全会一致で可決

陳情 12月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
「名護市辺野古への新基地建設凍結と地方自治の尊重、国民的議論の推進を日本政府に求める意見書」提出に関する陳情	反核・平和の火リレー鳥取県実行委員会	不採択	国政に関わる問題、なおかつ司法の場に委ねられた案件である。

●題字提供者紹介



三朝中学校2年 津村千尋さん

このほど実施された「税についての作文・習字コンクール」で三朝町長賞受賞されました。ソフトテニス部副部長としても活躍されています。

みさき
議会だより

- 発行責任者 藤井克孝 記
- 議長 福田 茂樹
- 編集 議会広報常任委員会
- 委員長 藤井 克孝
- 副委員長 中信貴美代
- 委員 山田 道治
- 委員 平井 満博
- 委員 池田 雅俊

地方創生について国の28年度新型交付金要求額が1,080億円とされ、27年度より下回り不十分ではないか、県では拡大すべきではないのかとの声がある。その中で本町ではまち・ひと・しごと創生総合戦略(第1章三朝町人口ビジョン、第2章三朝町まちひと・しごと創生総合戦略、第3章資料編)を策定し、今後5年間の目標と具体的施策が打ち出されました。本町の総合戦略は人口が減少しつつある中、中山間地である我が町の灯が消えぬよう再度精査していく必要があるのでは。